

中井町男女共同参画推進情報誌

ひだまり

No.27

男女共同参画推進懇話会と町では、毎年テーマを決めて、町民の皆さんに「男女共同参画」という視点から様々な事業を実施しています。

今年は「夫婦の良い距離の取り方」をテーマに、情報誌「ひだまり」の発行と講演会を開催します。

今年のテーマは 「夫婦の良い距離の取り方」

職場や学校など、他人と接することの機会が多い場所では、気にしているであろう距離感。

ご夫婦の間での距離感って気にしていますか？

夫婦に限った話ではありませんが、人はそれぞれ、自分を守るための「**パーソナルスペース（心理的空間）**」というものがあるそうです。

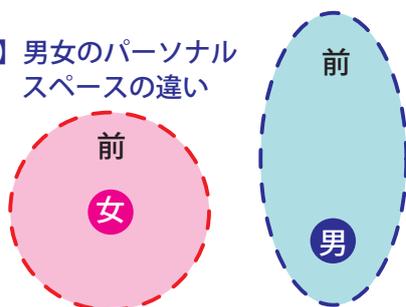


左の【図1】にあるように、男女によってパーソナルスペースの形が違うようで、その人の性格や相手によって、その大きさも変化するそうです。

また、アメリカの文化人類学者であるエドワード・T・ホールの研究によると、【図2】のようにパーソナルスペースには相手によって4つのゾーンに分類されます。それによると夫婦は親密距離に当たりますが、四六時中 45 cm 以内にいられたら、どう思いますか？

夫婦といっても、もともとは、“赤の他人”、その上“男性と女性”の関係です。お互いに、パーソナルスペースのすり合わせを行い、ストレスのない、穏やかな夫婦関係を築きたいですね！

【図1】男女のパーソナルスペースの違い



【図2】パーソナルスペースの距離



定年後も穏やかな夫婦性関係を築きたい！

夫婦の距離感といっても、定年を迎えてからの夫婦ではどうでしょう？

現役時代はお互いに仕事や家事に忙しく、いい意味でも悪い意味でも程よい距離感を保っていたものが、定年退職を迎えて一緒にいる時間が長くなると、それまでの距離感が微妙に変化してきて、鬱陶しさを感じるようになるといった話を、テレビやネットなどで目にしたこともあるのではないのでしょうか。



婚姻期間 20 年以上の離婚数



出典：厚生労働省「人口動態調査」(平成 28 年)

ここで、左のグラフをご覧ください。これは、婚姻して 20 年以上経過した夫婦の離婚件数、いわゆる**熟年離婚**の件数です。

件数自体は平成 14 年をピークに減少傾向ではありますが、比較的高い件数で推移しています。

これには、平成 19 年から始まった年金分割制度により、離婚後の妻の経済負担が軽減されたことも要因の一つかもしれませんね。

そうならないためには、どうしたらいいの？

一緒にいる時間が急に長くなると、息苦しく感じる時もあるかもしれませんよね。そんな時は、お互い自分にふさわしい趣味などの生きがいを見つけ、自分の時間を持つということも大事かもしれません。好きなことに没頭できればストレス解消にもなりますし、張りのある生活が送れますよね。

それと同時に、家事の分担や身の回りのことは自分で行うことにより、妻の負担を増やさないようにすることも重要です。

しかし、一方で新たな夫婦の距離の取り方として「**卒婚**」というものがあるようです。

卒婚とは、夫婦生活おいての概念の一つで、夫婦関係を見直して前向きにそれぞれの生活を送ることのようです。



夫婦とは、卒婚とは！

これまで、夫婦の距離感について考えてきましたが、皆さんは「夫婦の距離の取り方」や「卒婚」と聞いてどう思っていますか？

中井町男女共同参画推進懇話会で、「夫婦の距離の取り方」や「卒婚」についての意見交換を行いました。

夫婦とは他人の集まりの最小単位。
自分で出来ることは自分で行き、お互いの思考を尊重し、夫婦の会話を大切に過ごして行くことが必要だと思う。

お互いの生き方を尊重しあいながら、人生の方向性を夫婦のコミュニケーションで見出し歩んで行けたら幸せだと思う。

卒婚とは、夫婦で成すべきことをやり遂げた人の、第二の人生を平穏無事に導いてくれる過程なのではないでしょうか。

夫婦とは、他人同士が一緒になること。考え方が違うのは当たり前のこと。お互いに干渉しないことが大切ではないか。お互いを尊重し、助け合うことが幸せのもとだと思う。

二人の生活をしつつ、結婚を卒業するとは？
時には煩わしいこともあるが、買い物に行けば、伴侶に似合いそうな服を手にする自分がある。
こんな日常が、どう卒婚に繋がるのだろう。

委員の皆さんも、夫婦の在り方については、それぞれご自身なりの考えや理想があるようです。本情報誌をお読みの皆さんも、皆さんの考える夫婦の在り方があると思います。

少子高齢化社会であるといわれる昨今、これからのまちづくりには、若い世代から定年を迎えた世代までの皆さんの活力が必要不可欠です。

そこで、町では町民の皆さんがイキイキと楽しく生活できる力を身に付けてもらうために、講演会を開催します。

9月は「中井町男女共同参画推進月間」です



中井町では、9月を「男女共同参画推進月間」として、男女共同参画を推進しています。

皆さんは日頃の生活の中で、男女共同参画を意識していますか？
この9月の推進月間に講演会や各種啓発活動を行います。

皆さんに男女共同参画について意識してもらい、理解を深めていただければと考えています。

9月19日(水)は是非、講演会へ!

町では、ストレスのない穏やかな夫婦関係を送るための参考にしてもらうために、「卒婚 夫婦の良い距離の取り方」についての講演会を以下のように開催します。

講師には、佐賀県立女性センター・アバンセ館長などを歴任され、『男だって子育て』でベストメント賞を受賞、現在も中央大学法学部教授としてご活躍されている広岡守穂氏にお願いします。

また、先生は「卒婚」もご自身で実践されています。

是非、会場に足を運んで、今後の夫婦生活を送る上での参考にしてみませんか!

中井町男女共同参画推進講演会

卒婚 夫婦の良い距離の取り方 ～お互いに縛らず、支え合う関係～

中央大学法学部教授

ひろ おか もり ほ

講師

広岡 守穂



日時

9月19日(水)
19時から(受付は18時30分から)

場所

中井町農村環境改善センター 2階研修室

定員

60名(事前申込・先着順)

申込

中井町地域防災課 TEL、FAX、Eメールでお申込み下さい。 **入場無料**

託児あり



申込
期日

9月12日(水)まで
※託児も9月12日(水)まで
※申込用紙は地域防災課、井ノ口公民館、町HPからご利用ください。

お申込み、お待ちしております。



「ひだまり」へのご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

編集 / 中井町男女共同参画推進懇話会 発行 / 事務局 中井町地域防災課

〒259-0197 足柄上郡中井町比奈窪56番地

Tel:0465(81)1110 Fax:0465(81)1443 E-mail:chiiki@town.nakai.kanagawa.jp